

平成24年度

事業報告書

財団法人 海技振興センター

目 次

	頁
1 (財)海技振興センターの概況	1
1. (財)海技振興センターの事業等	1
2. 平成25年3月31日現在の役員	1
3. 平成25年3月31日現在の評議員	1
4. 水先人養成支援事業検討委員会	2
(1) 水先人養成支援事業検討委員会委員	2
(2) 小委員会委員	2
(3) 特別委員会委員	2
5. 事務局	2
6. 事業資金	2
II 会議及びその主たる議事	3
III 新法人への移行作業について	4
1. 公益法人制度改革への対応について	4
2. 移行後最初の評議員について	4
(1) 移行後最初の評議員推薦候補者の変更について	4
(2) 一般財団法人移行後の最初の評議員について	4
IV 事業の概要	4
1. 水先人養成を初めとする水先制度の施行状況に関する懇談会	4
(1) 水先人養成を初めとする水先制度の施行状況に関する懇談会 の設置について	4
(2) 水先人養成を初めとする水先制度の施行状況に関する懇談会 委員	5
(3) 水先人養成内容等の専門的検討のためのWG委員	5
(4) 水先レビュー懇談会等の開催状況	6
(5) これまで主な議論の方向性	7
2. 水先人の養成及び確保のための事業	7
(1) 水先人養成支援対象者に対する支援	7
(2) 登録水先人養成施設等に対する支援	7
(3) 水先人養成計画の策定及び同計画に基づく水先人養成支援対象者 の募集・選考等	8
(4) 水先人養成制度等に関する周知活動	9
(5) 水先人養成支援事業検討委員会等の開催状況	9

3. 海技の振興に関する事業	10
(1) 船舶の運航及びきょう導に関する諸技術の改善・向上その他海技 の振興に関する事業	10
(2) 船舶の運航及びきょう導に関する調査研究	11
(3) 委員会一覧	13
4. 水先業務用施設の整備その他水先業務の改善に関する事業	14
5. その他事業	14
 V 許認可、登記、届出及び報告事項	14
1. 許認可事項	14
2. 登記事項	14
3. 国土交通大臣に対する届出事項	14
4. 国土交通大臣に対する報告事項	14

平成24年度 事業報告書

I. (財)海技振興センターの概況

1. (財)海技振興センターの事業等

(1) 事務所

東京都千代田区麹町四丁目5番地

(2) 目的

水先人の養成及び確保のための総合的な支援を行うとともに、船舶の運航及びきょう導に関する諸技術の改善進歩、これらに従事する者の資質の向上、その他海技の振興に関する事業を行い、もって船舶交通の安全確保、船舶の運航能率の増進及び海洋環境の保全に寄与することを目的とする。

(3) 事業

- ① 水先人の養成及び確保のための総合的な支援
- ② 水先人の養成の適確化及び円滑化に関する事業
- ③ 水先業務用施設の整備その他水先業務の改善に関する事業
- ④ 船舶の運航及びきょう導に関する諸技術の改善・向上その他海技の振興に関する事業
- ⑤ 船舶の運航及びきょう導に関する調査研究
- ⑥ 海上労働に関する労働科学的研究
- ⑦ 前2号の調査研究成果の公表、普及及び関係官庁、国際機関等に対する提言
- ⑧ 関係団体との連絡調整
- ⑨ その他本センターの目的を達成するために必要な事業

2. 平成25年3月31日現在の役員は次のとおりである。(敬称略)

会 長	宮 原 耕 治	理 事	金 澤 龍 夫
理 事 長	磯 田 壯 一 郎	理 事	高 橋 静 夫
常務理事	山 内 一 良	理 事	中 本 光 夫
常務理事	岩 下 光 男	理 事	村 井 五 郎
理 事	赤 峯 浩 一	理 事	森 本 靖 之
理 事	井 上 欣 三	監 事	田 根 一 美
理 事	小 野 嘉 久	監 事	石 田 廣 義
理 事	小 幡 政 人	監 事	前 原 輝 幸

以上16名

3. 平成25年3月31日現在の評議員は次のとおりである。(敬称略)

五十嵐 誠	石 橋 武	大 鹿 仁 史	加 藤 甫
久保山 金 雄	佐々木 真 己	柴 田 耕 介	下 野 勝 郎
中 畑 美 男	中 村 哲 朗	野 尻 豊	松 村 泰 材
森 谷 進 伍	吉 澤 伸 幸		

以上14名

4. 水先人養成支援事業検討委員会

平成25年3月31日現在の委員は次のとおりである。(敬称略)

(1) 水先人養成支援事業検討委員会 (委員数: 16名)

委員長	加藤俊平								
委員長代理	井上欣三								
委員	植田博	大西正幸	小見山純郎						
	関岡卓史	竹本孝弘	田中初穂						
	山崎正敏	中條幸基	根本正昭						
	林祐司	樋本洋己	松村泰材						
	森谷進伍	中泉拓也							

(2) 小委員会

① 養成支援事業運営小委員会 (委員数: 6名)

委員長	加藤俊平								
委員	田中初穂	中條幸基	樋本洋己						
	松村泰材	井上一規							

② 水先人養成支援対象者選考小委員会 (委員数: 6名)

委員長	加藤俊平								
委員	田中初穂	井上一規	大西由希子						
	岡野良成	森本靖之							

③ 教材等作成検討小委員会 (委員数: 9名)

委員長	加藤俊平								
委員	井上欣三	関岡卓史	山崎正敏						
	根本正昭	林祐司	岡崎忠胤						
	小野嘉久	堀晶彦							

(3) 特別委員会

① 水先人養成支援特別委員会 (委員数: 7名)

委員長	加藤俊平								
委員	井上欣三	関岡卓史	森谷進伍						
	中泉拓也	磯崎道利	小野嘉久						

② 三級水先人確保対策特別委員会 (委員数: 10名)

委員長	加藤俊平								
委員	井上欣三	大西正幸	関岡卓史						
	山崎正敏	中條幸基	森谷進伍						
	中泉拓也	岡崎章夫	小田啓二						

5. 事務局

事務局職員 12名

6. 事業資金

本センターの事業資金は、(公財)日本海事センターからの補助金及び基本財産等の果実による。

II. 会議及びその主たる議事

会議名 開催年月日	場所	出席者	議事内容及び決議事項
第1回理事会 平成24年6月27日	東京	12名	(1)平成23年度事業報告(案)及び平成23年度決算報告(案)について (2)評議員の改選について (3)会長、理事長及び常務理事の選任について (4)その他
第1回評議員会 平成24年6月27日	東京	14名	(1)平成23年度事業報告(案)及び平成23年度決算報告(案)について (2)役員を選任について (3)その他
第2回理事会 平成24年10月30日	東京	13名	(1)(公財)日本海事センターに対する平成25年度補助金交付申請について (2)その他
第2回評議員会 平成24年10月30日	東京	14名	(1)(公財)日本海事センターに対する平成25年度補助金交付申請について (2)その他
第3回理事会 平成25年2月13日	東京	13名	(1)公益法人制度改革への対応について (2)財団法人海技振興センター評議員選定委員会規則の一部改正について (3)移行後最初の評議員推薦候補者の変更について (4)その他
第3回評議員会 平成25年2月13日	東京	14名	(1)公益法人制度改革への対応について (2)財団法人海技振興センター評議員選定委員会規則の一部改正について (3)移行後最初の評議員推薦候補者の変更について (4)その他
第4回理事会 平成25年3月25日	東京	13名	(1)会計処理規程の一部改正について (2)平成25年度事業計画(案)及び収支予算(案)について (3)役員評価委員会の設置について (4)その他
第4回評議員会 平成25年3月25日	東京	14名	(1)会計処理規程の一部改正について (2)平成25年度事業計画(案)及び収支予算(案)について (3)役員評価委員会の設置について (4)その他

Ⅲ. 新法人への移行作業について

1. 公益法人制度改革への対応について

平成21年度 第3回理事会・評議員会（平成22年3月23日）において、公益認定申請の手続きについては、「公益認定等委員会の認定状況及び公益法人を取り巻く諸状況を勘案しながら、公益認定申請に係る手続を進める。」との決定をしたが、平成24年度 第3回理事会・評議員会（平成25年2月13日）において従前の方針を変更して、「一般財団法人へ移行することとして認可申請することとする。」と議決した。

2. 移行後最初の評議員について

(1) 移行後最初の評議員推薦候補者の変更について

平成23年度第2回理事会・評議員会（平成23年9月26日）において、最初の評議員推薦候補者を決定したが、その後、候補者のうち評議員を辞任した方がいるため、平成24年度第3回理事会・評議員会（平成25年2月13日）において最初の評議員推薦候補者の変更をした。

移行後最初の評議員推薦候補者は、次のとおりである。

五十嵐 誠	石橋 武	大鹿 仁史	久保山 金雄
佐々木 真己	下野 勝郎	中村 哲朗	柴田 耕介
野尻 豊	松村 泰材	森谷 進伍	吉澤 伸幸

(2) 一般財団法人移行後の最初の評議員について

平成25年3月19日に評議員選定委員会を開催し、移行後最初の評議員推薦候補者は、全員が移行後最初の評議員に選定された。

財団法人海技振興センター評議員選定委員会委員

加藤 俊平	野川 忍	中村 哲朗（評議員）
前原 輝幸（監事）	村山 義夫（事務局職員）	

Ⅳ. 事業の概要

1. 水先人養成を初めとする水先制度の施行状況に関する懇談会

(1) 水先人養成を初めとする水先制度の施行状況に関する懇談会の設置について

平成19年4月施行の改正水先法では、等級別免許制や養成制度の新設等、水先制度の抜本的改正が行われ、今年度は、その施行後6年目となる。

この間、例えば養成について改善が必要である等の指摘が各方面から出されている。また、同法上も施行後7年以内に、その施行状況の検討が求められているとこ

ろであり、国においては各関係者・有識者等に対し、その施行状況に関するヒアリングを実施しつつ意見の提出等を求めたところ、養成及び養成に関連する専門的で運用面に関わる事項が多い結果となった。

このため、水先人養成支援事業の実施等を通じて養成関係の調整機能も果たしている本センターに、平成24年9月に水先に関して知見を有する有識者・各関係者による下記懇談会を設け、水先人養成制度についての改善措置の実施に向けて、専門的で実際的な検討を行うこととなった。

なお、水先業界が求める水先人に必要な意識・知識・技術等の習得に相応しい養成内容等の確立のため専門的・技術的な見地から検討し、具体的内容等の叩き台案を作成する作業を行う水先人養成内容等の専門的検討のためのWGを、同懇談会の下に設置し具体的方策の検討を行うこととした。

(2) 水先人養成を初めとする水先制度の施行状況に関する懇談会委員

平成25年3月31日現在の委員は次のとおりである。(敬称略)

<学識経験者委員>	加藤 俊平	中 泉	拓 也	井 上	欣 三	森 谷	進 伍
<水先人関係者委員>	中條 幸基	山 崎	正 敏	石 橋	武 司	小久保	又五郎
	竹口 信和	甲 谷	保 行	宮 本	主 司		
<船社関係者委員>	赤 峯 浩一	平 塚	惣 一	佐々木	真 己	井 上	晃
<養成施設関係者委員>	岩 坂 直人	竹 本	孝 弘	小 田	啓 二	林	祐 司
	大 西 正幸	堀	晶 彦				
オブザーバー							
<国>	花 角 英世	岩 月	理 浩	今 井	浩	鮭 川	次 男
<事務局>	磯 田 壯一郎	岩 下	光 男	関 岡	卓 史		

(3) 水先人養成内容等の専門的検討のためのWG委員

平成25年3月31日現在の委員は次のとおりである。(敬称略)

<水先人関係者委員>	中條 幸基	山 崎	正 敏	小見山	純 郎	塚 脇	義 明
<船社関係者委員>	中 矢 眞央	根 本	正 昭	植 田	博		
<養成施設関係者委員>	竹 本 孝弘	林	祐 司	堀	晶 彦		
オブザーバー							
<国>	今 井 浩	鮭 川	次 男	榎 本	典 央		
<事務局>	岩 下 光男	関 岡	卓 史	日下部	敏		

(4) 水先レビュー懇談会等の開催状況

委員会名	開催回数 開催日	審議事項等
水先人養成を初めとする水先制度の施行状況に関する懇談会 (水先レビュー懇談会)	第1回 平成24年9月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・水先人養成を初めとする水先制度の施行状況に関する懇談会について ・水先制度の施行状況に関する意見等について ・検討に当たり必要な調査の実施について
	第2回 平成24年10月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の論点の整理について ・募集活動等の改善・強化のあり方について ・養成内容等の改善・強化に向けた検討の進め方について
	第3回 平成24年11月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・募集活動等の改善・強化のあり方について 養成規模のあり方に関する水先側の提案 ・選考のあり方に関する水先側の提案 提供すべき情報の内容のあり方に関する水先側の提案 ・周知・募集等の活動・方法のあり方に関するセンターの提案 ・養成内容等の改善・強化に向けた検討の進め方について（養成WGの検討状況・海外調査の実施要目）
	第4回 平成24年12月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・募集活動等の改善・強化のあり方について 養成規模に関する水先側提案 選考に関する水先側提案（資質見極め方法） ・選考に関する前回までに合意された内容の再整理 <ul style="list-style-type: none"> a. TOEIC スコア 500 点の取扱い b. 面接委員の追加 ・養成内容等の改善・強化のあり方について 海外調査報告 第二回水先人養成内容等検討WGの報告 支援の現状及びそのあり方
	第5回 平成25年1月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの議論の再整理 ・養成内容等の改善・強化のあり方について 第三回水先人養成内容等検討WGの報告 「船員の常務」を会得するための方策 養成内容の検討を進めるに当たっての試案 ・試験の実施時期等 ・海外調査の最終報告 ・養成内容等の検討に関する水先側提案 ・新たな養成の開始時期等 ・支援のあり方及び改善の方向性
	第6回 平成25年3月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの議論の再整理 ・養成内容等の改善・強化のあり方 第三回水先人養成内容等検討WGの報告 三級水先人の養成内容等 新たな内容による養成の開始時期 養成支援の改善 水先人試験の受験機会

		・その他の課題（水先人会の安全対策・水先区の範囲等）
水先人養成内容等の 専門的検討のための WG	第1回 平成24年11月7日	・水先人養成WGの設置について ・水先人養成教育の基本的考え方
	第2回 平成24年12月5日	・養成内容等に関する水先側提案について ・海外調査の結果について（経過報告） ・船員の常務を会得するための訓練方法について 船協宿題 「商船乗船実習での問題点について」 連合会宿題 「商船乗船実習以外での対応について」
	第3回 平成25年1月24日	・「船員の常務」を会得するための施策 ・養成内容等の検討を進めるに当たっての試案 ・海外調査の最終報告について
	第4回 平成25年2月26日	・養成内容等に関する水先側提案について ・養成内容等の検討状況について ・三級水先人志望者の航海士乗船について ・養成支援の改善について ・水先人試験の受験機会について ・新たな内容の養成開始について

(5) これまでの主な議論の方向性

①養成規模

- ・基本的に5年ごとに見直すことを前提に、当面、一級20名、二級5名、三級10名とする。

②船舶乗船実習

- ・新卒者等への船舶乗船実習を2年間実施する。

2. 水先人の養成及び確保のための事業

水先人の確保に資するため、水先人養成が適確かつ効率的に実施されるよう、平成23年度の事業実績を踏まえながら支援業務を行った。事業の概要は以下のとおり。

(1) 水先人養成支援対象者に対する支援

水先人養成支援対象者が登録水先人養成施設において適確に養成を受けることができるよう、同支援対象者74名（一級水先修業生25名、三級水先修業生49名<三期生17名、四期生22名、五期生10名>）に対し養成手当を支給するとともに、必要な教材（海図、海事英語教材及びその他の書籍）及び被服（救命胴衣等）の無償貸与並びに水先区における現場訓練や商船等の乗船訓練の実施に伴い発生する旅費及び宿泊費等の実費を支援した。また、引き続き、修業期間中の傷害保険を付保するとともに、乗下船時の安全手引を配布した。

(2) 登録水先人養成施設等に対する支援

前年度に引き続き、同施設3校（東京海洋大学、神戸大学及び海技大学校）に対し、操船シミュレータ装置及び同装置用ソフトウェアを無償で貸与した。

また、同施設における水先人等の講師、操船シミュレータのインストラクター及びオペレーターの費用負担についても、引き続き支援を行うとともに、同施設3校において、特に三級水先修業生の訓練の均質化や評価基準の統一化を図る観点からインストラクター研修及び意見交換会等を開催した。

さらに、乗船訓練や水先区における現場訓練の円滑な実施への協力等必要な支援を行った。

(3) 水先人養成計画の策定及び同計画に基づく水先人養成支援対象者の募集・選考等

① 水先人養成計画の策定について

将来にわたって安定的に水先人を確保していくためには、各等級別に水先人養成支援対象者を計画的に確保・育成していく必要がある。このため、第2回水先人養成支援事業検討委員会（平成24年10月31日に開催）及びその後の審議において、水先人養成計画に係る審議が行われた。

その結果、次のとおり水先人養成支援対象者の募集人数が決定された。

- ・平成25年度一級水先人養成支援対象者；35名（12水先区）

② 水先人養成支援対象者の募集及び選考方法等について

第4回水先人養成支援対象者選考小委員会（平成24年11月26日に開催）において、上記養成支援対象者の募集案内及び選考方法等について審議が行われた。

その結果、平成25年度の一級水先人については前年度に準じた内容とするとともに、三級水先人については、平成25年度の水先人養成支援対象者の追加募集を実施することが決定された。

以上にに基づき、平成25年度一級水先人養成支援対象者及び同25年度三級水先人養成支援対象者について、応募要領の作成配布及びホームページへの掲載等により募集活動を行い、水先人養成支援対象者を広く一般より公募した。

③ 水先人養成支援対象者の応募者数及び選考について

平成25年度一級水先人養成支援対象者の応募者数は27名となり、筆記・面接試験を実施し、厳正な選考の結果、10水先区25名の水先人養成支援対象者を決定した。

また、平成25年度三級水先人養成支援対象者に係る第1回選考分の応募者数は、募集定員25名に対して2名となり、筆記・面接試験を実施し、厳正な選考

の結果、2水先区2名の水先人養成支援対象者を決定した。更に、第2回選考分については、募集定員23名に対する応募者が3名となり、第1回選考と同様に筆記・面接試験等を実施し、3水先区5名の水先人養成支援対象者を決定した。

(4) 水先人養成制度等に関する周知活動

新たな水先人養成制度により必要な水先人の確保が図られるよう、パンフレットの作成・配布、ホームページの充実等を通じ、引き続き、水先制度、水先人養成支援制度等の周知活動を実施した。

(5) 水先人養成支援事業検討委員会等の開催状況

平成24年度の水先人養成支援事業検討委員会及び下部小委員会の開催状況は次のとおりである。

委員会名	開催回数 開催日	審議事項等
水先人養成支援事業 検討委員会	第1回 平成24年5月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三級水先修業生(6期)の募集人員について ・ 一級及び三級の水先修業生の選考試験の見直しについて ・ 平成25年度三級水先修業生募集案内について
	第2回 平成24年10月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水先人養成支援対象者の募集員数について ・ 第1回教材等作成検討小委員会の検討結果について
水先人養成支援対象 者選考小委員会	第1回 平成24年4月23日 面接委員会と合同	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水先人養成支援対象者選考試験の見直しについて
	第2回 平成24年6月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考方法等について
	第3回 平成24年6月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25年度三級水先人養成支援対象者選考試験合格者の決定について
	第4回 平成24年11月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25年度水先人養成支援対象者選考スケジュール(案) ・ 平成25年度一級水先人養成支援対象者募集案内(案)について ・ 平成25年度三級水先人養成支援対象者募集案内(追加募集)(案)について

		<ul style="list-style-type: none"> ・選考の面接委員の充足について ・前回の選考小委員会で改正された選考方法の再確認
	第5回 平成25年2月13日 面接委員会と合同	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度の水先修業生の選考について（選考方法等の確認及び面接による留意点）
	第6回 平成25年2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度一級水先人養成支援対象者選考試験合格者の決定について ・平成25年度三級水先人養成支援対象者（追加募集）選考試験合格者の決定について
	第7回 平成25年2月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度一級水先人養成支援対象者追加募集人数について ・一級水先人養成支援対象者追加募集に対する対応について
教材等作成検討小委員会	第1回 平成24年9月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度支援要請等について 24・25年度教材、教科書及び25年度シミュレータソフト（景観・海域等）

3. 海技の振興に関する事業

(1) 船舶の運航及びきょう導に関する諸技術の改善・向上その他海技の振興に関する事業

① STW調査検討に関する専門委員会の開催及びSTCW条約に係るIMO国際会議への出席等

IMO-STCW条約に関する諸問題についての調査検討を行うため、下記のとおり「STW調査検討に関する専門委員会」を1回、「同専門委員会作業部会」を1回開催するとともに、IMOの第91回海上安全委員会及び第43回STW小委員会に技術・研究部長が出席した。

<専門委員会>

・第1回STW調査検討専門委員会（平成25年3月26日）

平成25年3月31日現在の委員は次のとおりである。（敬称略）

委員長	矢吹 英雄						
委員長代理	竹本 孝弘						
委員	御姓 久夫	立川 博行	藤澤 昌弘	宮寺 重男			
	本望 隆司	齊藤 廣志	藤岡 宗一	遠藤 雄三			
	澁 真輝	引間 俊雄	阪根 靖彦				

<作業部会>

・第1回STW調査検討専門委員会作業部会（平成24年4月23日）

平成24年4月23日当時の委員は次のとおりである。(敬称略)

委員長	竹本 孝弘				
委員	加島 勝	立川 博行	藤澤 昌弘	宮寺 重男	
	澁 真輝	引間 俊雄	阪根 靖彦		

< IMO国際会議 >

- ・第91回海上安全委員会

(平成24年11月26日～11月30日 於ロンドン)

- ・第43回STW小委員会

(平成24年4月30日～5月4日 於ロンドン)

② IMOモデルコースの翻訳及びその電子データのホームページへの掲示

第43回STW小委員会で審議され、第91回海上安全委員会で承認されたモデルコースを含む次のモデルコースの翻訳を実施してその電子データをホームページに掲示した。

- ・モデルコース 1.13 初歩的応急手当 コース大要
- ・モデルコース 1.14 応急医療 コース大要
- ・モデルコース 1.27 電子海図情報表示システム (ECDIS) の実用的使用
- ・モデルコース 2.03 上級消火訓練 コース大要 (前半)
- ・モデルコース 3.19 船舶保安職員
- ・モデルコース 3.26 保安任務を指定される船員を対象とする保安訓練
- ・モデルコース 3.27 全ての船員を対象とする保安意識訓練

(2) 船舶の運航及びきょう導に関する調査研究

① 次世代の海技者に求められる技能及び資質の育成に関する調査専門委員会等

STCW条約の改正や船員教育訓練体制を取り巻く環境変化のもとで、次世代の海技者に求められている実践力やマネジメント能力などの能力や資質を育成する教育・訓練の改善について具体的な情報を提供することを目的として2年計画で実施する。平成24年度は、先進海運国の教育機関と我が国の海事産業の現状を調査し、専門委員による情報交換と情報共有を行った。

< 専門委員会 >

- ・第1回専門委員会 (平成24年 8月23日)
- ・第2回専門委員会 (平成24年12月 6日)
- ・第3回専門委員会 (平成25年 3月 1日)

平成25年3月31日現在の委員は次のとおりである。(敬称略)

委員長	藤野正隆				
委員	山本 勝	山崎祐介	今田幸子	宮寺重男	稲石正明

古莊雅生	石田邦光	田上英正	山口 祐	石渡勝三
藤澤昌弘	中村憲吾	遠藤雄三	藤岡宗一	窪木孝雄
国枝佳明	引間俊雄	井上登志仁	藏本由紀夫	

<作業部会>

- ・準備・意見交換会 (平成24年 7月 6日)
- ・調査作業部会 (平成24年10月 9日)
- ・報告枠組作業部会 (平成25年 1月29日)
- ・業界作業部会 (平成25年 2月 7日)
- ・教育作業部会 (平成25年 2月 8日)

平成25年3月31日現在の委員は次のとおりである。(敬称略)

調査作業部会長	山本 勝		
報告枠組作業部会長	藤野正隆		
業界作業部会長	山本 勝		
教育作業部会長	山崎祐介		
委員	藤野正隆 (業、教)	山本 勝 (枠)	山崎祐介 (調、枠)
	今田幸子 (枠)	宮寺重男 (枠、業)	稲石正明 (教)
	古莊雅生 (調、教)	石田邦光 (教)	田上英正 (枠)
	山口 祐 (業)	石渡勝三 (業)	藤澤昌弘 (枠、業、教)
	中村憲吾 (枠、業)	遠藤雄三 (業)	藤岡宗一 (業)
	窪木孝雄 (業)	国枝佳明 (教)	引間俊雄 (調、教)
	井上登志仁 (業)	藏本由紀夫 (枠、業)	

以上、()内は、調査、報告枠組、業界、教育の各作業部会を示す。

② 海上の安全に係る人的要因等に関する専門委員会等

海上安全に係る人的要因について、海技者のマネジメント能力の強化が求められ、コミュニケーション、リーダーシップ、チームワークに関する教育が必要になっていることから、これまでに蓄積した調査結果に新たな情報を加えて、教育テキスト素案を作成した。

<専門委員会>

- ・第1回専門委員会 (平成25年 2月29日)
- ・第2回専門委員会 (平成25年 3月29日)

平成25年3月31日現在の委員は次のとおりである。(敬称略)

委員長	青木修次				
委員	飯田 裕康	田村祐司	渕 真輝	羽原 敬二	渡利 邦宏

③ 海技ネットワークの運営

船舶交通の安全確保及び船舶の運航能率の向上に資するために、これまでの調査研究事業の成果物を公に提供する海技のホームページを充実し、利用促進策を検討するためのアクセス解析を実施した。

- ・アクセスログ解析
- ・アンケート回答解析

④ 国際船員社会への海技知見の提供

船員の資質の向上に寄与し、船舶交通の安全運航及び地球環境の保護に貢献するため、海上保安庁の監修を得て、「関門海峡 安全通狭ガイダンス」を作成した。

(3) 委員会一覧

委員会名	開催回数 開催日	審議事項等
STW調査検討専門委員会	第1回 平成25年3月26日	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度IMOの審議結果 STW44への対応について 平成25年度専門委員会の活動予定(案)について
	作業部会 平成24年4月23日	<ul style="list-style-type: none"> STW43への対応について STW43参加者担当について
第91回海上安全委員会	平成24年11月26日 ～11月30日	IMO(ロンドン)
第43回STW小委員会	平成24年4月30日 ～5月4日	IMO(ロンドン)
次世代の海技者に求められる技能及び資質の育成に関する調査専門委員会	第1回 平成24年8月23日	<ul style="list-style-type: none"> 調査研究事業の計画 海技教育機関の体制と運営に関する調査 委員会の進め方
	第2回 平成24年12月6日	<ul style="list-style-type: none"> 調査の経過と調査概要の報告 報告書とりまとめ計画 外航海運のプレゼンテーション 内航海運のプレゼンテーション
	第3回 平成25年3月1日	<ul style="list-style-type: none"> 報告書のとりまとめ 旅客船のプレゼンテーション 内航船舶管理のプレゼンテーション
	調査作業部会 平成24年10月9日	<ul style="list-style-type: none"> 調査項目 調査対象 調査方法
	報告枠組み作業部会 平成25年1月29日	<ul style="list-style-type: none"> 次世代の海技者の概念 将来の海事産業の展開 海技教育の展望 報告書のスケルトン
	作業部会議 平成25年2月7日	<ul style="list-style-type: none"> 海事業界の海技者 海技者のキャリア開発 報告書のとりまとめ
	教育作業部会 平成25年2月8日	<ul style="list-style-type: none"> 海外調査の報告 調査結果のとりまとめ 報告書の方針と概要
海上の安全に係る人的要因等の検討に関する専門委員会	第1回 平成25年2月29日	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画について マネジメント能力育成情報について
	第2回 平成25年3月29日	<ul style="list-style-type: none"> マネジメント研修資料について マネジメント方法について

4. 水先業務用施設の整備その他水先業務の改善に関する事業

(1) 水先業務用施設（事務所、水先艇、レーダー、通信設備、その他水先業務に必要な施設等）整備に係る資金については、下記のとおり貸付を行った。

- ・大阪湾水先区水先人会（水先人会事務所の耐震診断、耐震補強及び修理工事）
20,000万円
- ・関門水先区水先人会（水先艇の建造）
6,400万円

(2) 水先業務の開始に際して必要となる開業資金を用意することが困難な三級水先人に対する資金については、下記のとおり貸付を行った。

- | | | |
|---------------|-----|---------|
| ・東京湾水先区水先人会 | 4名 | 1,200万円 |
| ・伊勢三河湾水先区水先人会 | 4名 | 1,450万円 |
| ・大阪湾水先区水先人会 | 2名 | 500万円 |
| 合計 | 10名 | 3,150万円 |

(3) 貸付金の償還及び利息の受領等の業務を行った。

5. その他事業

当センターが区分所有する海事センタービルの6階の一部について、貸付その他適正な管理に努めた。

V. 許認可、登記、届出及び報告事項

1. 許認可事項

なし

2. 登記事項

理事の住所変更 [平成24年7月12日]

理事変更登記 [平成24年7月12日]

3. 国土交通大臣に対する届出事項

(1) 平成24年度事業計画及び収支予算の届出

[海総第 2号 平成24年 4月17日]

(2) 役員の変更の届出及び住所変更 [海総第16号 平成24年 7月23日]

4. 国土交通大臣に対する報告事項

平成23年度事業報告及び決算報告 [海総第15号 平成24年 7月23日]